



北海道帯広三条高等学校
〒080-2473
北海道帯広市西23条南2丁目12番地
TEL: 0155 (37) 5501
発行日 令和4年5月31日

自分で限界を決めないで挑戦してほしい！～教育実習生からのメッセージ

教育実習に来た9名の卒業生たちが爽やかな風を運んでくれました。教育実習を終えた実習生からのメッセージをお届けします！

◆大内 魁斗（化学：帯広畜産大）

色々なことに挑戦して失敗してもやり直しが効くのは高校生までと個人的には思っています。自分がやってみたい！と思ったことはぜひ失敗を恐れずにチャレンジしてみてください。残りの高校生活を悔いなく過ごしてください。

◆楠本美佐子（国語：法政大）

50代で教育実習をさせていただきました。人生100年時代です。自分で限界を決めることなく、興味のあることにどんどん挑戦してってください。がむしゃらに打ち込めば、自然と道は開けてくるものです。

◆小林 愛果（音楽：札幌大谷大）

私の尊敬するスピードスケート選手・小平奈緒さんの言葉に「与えられるものは有限、求めるものは無限」という言葉があります。恥をかいたっていい、頑張りたいと思うだけでもいい。自ら挑戦する姿勢を大切に！

◆穴戸 恵（生物：帯広畜産大）

快活な挨拶ができること、探究心をもって物事に取り組むことができることなど、2週間で皆さんの良い点をたくさん発見できました。良い点を伸ばしながら、皆さんには自己実現を果たしてほしいと感じています。

◆中山 理子（保健体育：国士館大）

高校生のうちにしかできないことを沢山してください。勉強や部活、何か夢中になれるものに全力で取り組む姿勢は、きっとこれから生きるうえで自分にとって大きな力になると思います。今を楽しんで頑張ってください。

◆浪岡大陸（保健体育：日体大）

新型コロナの影響で学校生活も色々制限がかかっていると思いますが、高校時代の思い出は大人になってからも忘れずに残っています。勉強、部活、行事、日々の学校生活を全力で楽しんでください。

◆船木 雅芳（英語：国際教養大）

3年間の高校生活はあっという間に過ぎていきます。充実した高校生活を送れるように、ぜひ沢山の新しい知識を得て、経験をして思い出を作って、そして周りの方々への感謝を忘れずに頑張ってください！

◆船戸誠一郎（現代社会：東京農大・大学院）

三条生の皆さんには、高校生活で「友情」を育んで欲しいと思います。「友情」にはいくつかありますが、苦しんでいる時、辛い時こそ、そばにいて励まし合える「友情」を育んでください。これは一生の宝物になります。

◆村上 隼規（保健体育：仙台大）

三条生の皆さんには今しかできない多くの経験を積んでほしいです。学校生活、部活などの青春を謳歌してください。人生の財産になります。皆さんの活躍を楽しみにしています。短い期間でしたがありがとうございました。



生徒が選んだ新ポロシャツ解禁！

夏服が解禁となり、昨年生徒や保護者アンケートを経て決まった新指定ポロシャツがお目見え。ブルーの地に細いラインの入ったポロシャツで少しでも涼しい夏を迎えられそうです。その着心地を2年の山川響



【5月30日の下校風景】

生さんは「（ブルーのラインのせいで）ちょっと目がチカチカしますが、裾を出していいので、以前と比べると涼しいです。」と話し、藤本まゆなさんも「女子はベストがなくなった分涼しく感じます。見た目も水色なので爽やかに感じます」と話してくれました。

なお、新1年生から略装は白Yシャツ、指定ベスト・ブラウス、指定ポロシャツのいずれかを着用することとしています。ただし2・3年次生は以前の略装に加え指定ポロシャツの着用も可としていますので、しばらくはバラエティーに富んだ服装が見られることとなります。

今年度からのスクールカウンセラー 星奈見先生をご紹介します

今年度からスクールカウンセラーとして月に一度のペースで本校に来ていただくことになった星先生からのメッセージを紹介します。

こんにちは。今年度から三条高校に勤務することになりました、星奈見と言います。出身は中標津町で、大学進学をきっかけに関東で暮らしていました。働きながら臨床心理士と公認心理師の資格を取り、3年前から北海道に戻って十勝でスクールカウンセラーとして働いています。小中学校でも働いているので児童生徒の相談が多いですが、保護者の相談も多く受けています。気になることや心配なことなどがあれば、どんなにでも気軽に話しに来てもらいたいと思っています。心理系の資格取得や進学についての相談でも大丈夫ですよ。好きなことは燻製などの食品加工とライブ鑑賞で、今年はロックフェスに行けたらいいと思っています。どうぞ、よろしくお願いします。



第21回 生徒指導部長 吉田 貴之 教諭

『おかげさま』の気持ちが大事！

◆朝登校時に校舎前に立って思うこと

生徒指導部長になって担任からはずれるということで、少しでも生徒たちとのかかわりを持ちたくて、生徒玄関前に立って朝の挨拶をしています。自分が卒業生を送り出した頃とは違って、本当に遅刻する生徒もほとんどいなくなりました。でも、まだ挨拶をしてくれない生徒が若干いるのは残念です。自分の方から「おはようございます」と元気にあいさつできるといいと思います。

◆家に帰ってノックの練習

今年から部活動もサッカー部からソフトボール部に変わりました。私はソフトボールの経験はありませんが、自分の子どもの頃はスポーツといえば野球でしたので、私も他の子どもと同じように野球が好きになりました。それで小学校4年の時に地域の少年団チームに入ろうと思ったのですが、そのチームは結構強くて入団テストがありました。その中に遠投があって、隣の子がすっごく遠くに投げるのに、僕は全然投げられない。案の定、不合格です。それで僕の野球人生は終わりです（笑）。

今回、顧問を引き受けることになって試合前にノックをしなくてはならないというので、一生懸命練習しています。私には2歳半の娘がいるのですが、彼女用のおもちゃのボールが結構な数があるので、それを使ってカーテンに向かってノックの練習です。ボールを全部打ち終わったら、娘も拾うのを手伝ってくれます。この練習の甲斐もあってボールにあたるようになりました。

◆おかげさま

前任校はなかなか大変な学校で毎日生徒指導に追われているような学校でした。でも教員のチームワークが素晴らしかったのです。みんなが支え合い、励まし合いながら日々を送っていました。そんな中、修学旅行で奈良・薬師寺に行きました。ご存じの方もいるかと思いますが、薬師寺はお坊さんの説教が本当におもしろくてためになります。生徒たちもお坊さんのジョークに笑いながらどんどん話に引きこまれていきました。そして「お陰様の気持ちが大事なんだ」という話にみんな感激したわけです。学校に戻ってからも生徒たちが何かある度に「お陰様」と口にするようになりました。そこで担任団はそれをこんな標語にしたのです。

お 穏やかな心
か 感謝する心
げ 元気な心
さ 支えあう心
ま まっすぐな心

私は今でもあの担任団に支えられた日々を思い出します。それこそ“お陰様”で今も教員を続けていられるのだと思っているのです。



インタビュー

きらり

第63回三柏戦の開会式で宣誓した

3年1組 新田 拓真 さん

三条高校で輝いている生徒を紹介します。インタビュアーは校長です。



4月28日に行われた第63回三柏戦がよつ葉アリーナをメイン会場として開催されました。その開会式で恒例の宣誓に立ったのは3年1組の新田拓真さん。お笑いの定番小ネタをちりばめながら、三柏戦に臨む気持ちを込めた素晴らしい宣誓でした。そこで引き受けるに至った経緯をまず尋ねました。それには少しはにかんだ表情で「生徒

会の友人から頼まれて引き受けることにしました」と答えてくれました。ご存じの通り三柏戦は一昨年は中止、昨年は分散開催ということで今までの宣誓は見たことがなかったとか。昨年のビデオを柏葉の友人から見せてもらってようやく自分がすべき方向性を確認できたようで、「一緒にやるのなら中学時代の友人とやりたい」と、柏葉の中学時代の友人と宣誓を務めたそうです。ネタはほとんど新田さんが作ったそうで、「練習は2日前から公園でやりました。なんか本当の売れないお笑い芸人みたいでした」と笑います。当日も最後まで

アリーナの隅でネタ合わせ。それでも本番は「めちゃくちゃ緊張した」そうで、「台詞が飛んでしまった時は相方に助けられました。それでもあの新しくて広いよつ葉アリーナでコントをするなんて経験は普通できません。本当にいい経験ができました」と振り返ってくれました。新田さんの宣誓のお陰もあって、見事三条高校は10連覇を果たし、トータルでも『28勝28敗4分3中止3開催せず』となりました。後輩たちに向けて一言をお願いしたところ、「来年も絶対勝ってほしい。宣誓も多くの人の前でコントを披露するなんてことはなかなかできることじゃないので、ぜひ、自分からこの大役を引き受けて三条のみんなを後押ししてほしい」と力強く語ってくれました。三柏戦当日のHRでも担任の後藤先生に「勝つぞ！」と檄を飛ばされたそうで、その熱い思いは確実に伝わっているようでした。

ピアノと釣りが趣味という新田さん。将来は道職員になって地方と中央、住民と行政のつなぎ役を務めたいと目標を語ってくれました。「転勤とか嫌じゃないの？」と聞くと、「むしろ色々な所に行くことが楽しみです」と即答。北海道の将来を任せました。頼みましたよ！

